

林業・木材産業成長産業化促進対策交付金の取組事例（30年度）

事業概要

林業機械作業システム整備（高性能林業機械等の整備）

事業実施主体：烏川流域森林組合（群馬県）

成果目標：①素材生産量 現状値（H27～H29） 4,635m³
 目標値（R6） 10,500m³
 ②素材生産性 現状値（H27～H29） 5.2m³/人・日
 目標値（R6） 7.4m³/人・日

導入施設等：ロングリーチハーベスタ、フォワーダ



（ロングリーチハーベスタ：伐倒・造材） （フォワーダ：積込み・運搬）

ポイント

【取組概要】

ロングリーチハーベスタとフォワーダを導入し、伐倒から運搬までを2人体制で行う作業システムを1セット追加。

【成功のポイント】

アームが伸長するロングリーチハーベスタにより、作業道から離れた場所まで直伐り・直取りが可能となったことで、従来は3人で行っていた作業を2人で実施できるようになった。

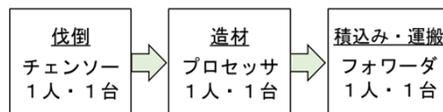
事業効果

【事業実施による効果】

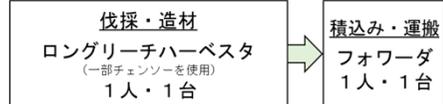
素材生産性の向上により2人1セットの追加で素材生産量が倍増。

素材生産量が107%増加
 （R2実績値9,583m³）
素材生産性が56%増加
 （R2実績値8.1m³/人・日）

従来型作業システム（3人1セット）



新作業システム（2人1セット）



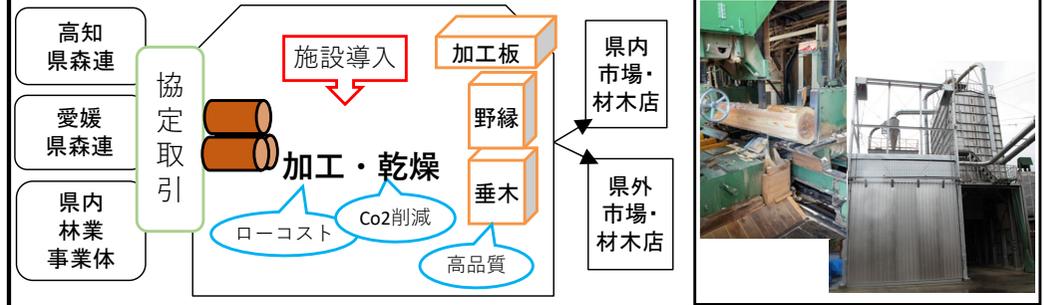
事業概要

木材加工流通施設整備（木材加工流通施設等の整備）

事業実施主体：山口製材（株）（徳島県）

成果目標：地域材利用量 現状値（H30） 11,702m³
 目標値（R6） 17,150m³

導入施設等：自動帯鋸盤及び製材搬送仕分けライン、木材乾燥機、バイオマスボイラー、フォークリフト



（自動帯鋸盤、木材乾燥機）

ポイント

（地域材利用のイメージ）

【取組概要】

施設導入により、地域材利用増、品質・生産性向上、Co2排出削減。

【成功のポイント】

加工品質・生産性の向上によりコストダウン・価格競争力の向上。
 コロナ禍でも乾燥製品の需要があり、生産速度を落さず対応。
 令和2年から月に1回の社員研修を実施。社員の交流の場となり、社内のモチベーションの向上。（社員の技能と職場環境等の向上）

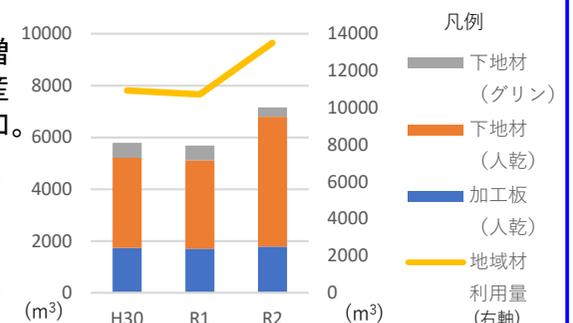
事業効果

【事業実施による効果】

施設整備完了（R1）後、利用量の増加かつ乾燥工程の短縮により生産性が向上し、地域材利用量が増加。

地域材利用量が15%増加
 （R2実績値13,509m³）

地域材利用量と品目別加工量



林業・木材産業成長産業化促進対策交付金の取組事例（30年度）

事業概要

木造公共施設整備（木造公共建築物等の整備）

事業実施主体：北川村（高知県）

成果目標：①施設利用者数

現状値（H30）0人、目標値（R5）3,804人

②単位面積当たりの地域材利用量

現状値（H30）0m³/m²、目標値（R5）0.28m³/m²

整備施設：小規模多機能施設「ゆずの花」（コミュニティセンター）



（地域の風景に馴染むよう設計された外観）



（CLTが折り重なるように連続した天井）

ポイント

【取組概要】

村民等が自由に利用でき災害時には避難場所となる、CLTを活用した木造の地域コミュニティ施設の整備。

【成功のポイント】

一度入ってみたいくなるような景観、いつまでもいられる、何度でも来たいくなるような居心地がよく、温かみのある内装になるようデザインが工夫されており、幅広い層の利用を実現し、モデル的な施設として木材利用の促進につなげている。

事業効果

【事業実施による効果】

木材利用の促進のみならず、障害者や妊婦も含め、乳児から高齢者までの集いの場としての役割を果たしており、世代を超えた交流のできる施設として、住民等の交流・関係性の構築を活性化させ、地域力の向上に寄与している。

施設利用者数（実績値：（R1）3,028人、（R2）4,077人）
単位面積当たりの地域材利用量（実績値：0.43m³/m²）

事業概要

木質バイオマスエネルギー利用施設整備（木質バイオマス利用促進施設の整備）

事業実施主体：新城市（愛知県）

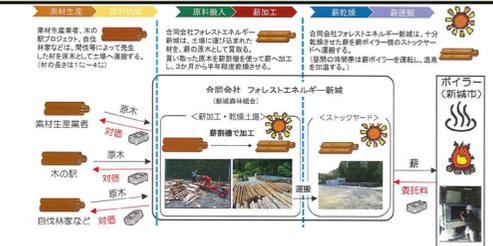
成果目標：木質バイオマス利用量 現状値（H30）0m³

目標値（R3）839m³

導入施設等：薪ボイラー施設、収納ラック・フォークリフト



（薪ボイラー施設）



（木材供給イメージ）

ポイント

【取組概要】

新城市内における重要な観光資源である湯谷温泉は、新城市保有の施設で加温して各旅館へ配湯している。

既存の施設（重油ボイラー）の施設更新にあわせ地域の未利用間伐材を使用する薪ボイラーを導入することにより、森林整備の促進や雇用創出、エネルギーの地産地消に資する取組を推進。

【成功のポイント】

新城市が中心となり新城市薪生産協議会で生産量を調整することにより原木の安定供給を実現。

重油ボイラーと薪ボイラーのハイブリッド仕様により安定して配湯を行うことが出来る。

事業効果

【事業実施による効果】

- ・地域の未利用材や間伐材等が有効活用されるようになった。
- ・CO₂排出量の抑制につながった。
- ・薪の生産、供給等における雇用の創出につながった。

木質バイオマス利用量が増加（R2実績値839m³）